

## IPO銘柄 バリュージェイン (3960・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3960	100 株	公募: 26.80 万株 売出: 2.50 万株 (OA4.39 万株)	1,860 円 ~ 2,040 円 (12.3 倍)	SMBC 日興証券



### 自社ブランドで発行可能なサーバー管理型プリペイドカードシステムを提供

#### ■ 事業内容

サーバー管理型プリペイドカードシステム「バリュージェインカードASPサービス」を手掛ける。サーバー管理型プリペイドカードシステムは、クライアントが自社ブランドで発行でき、大手飲食チェーンやスーパーマーケットなどの流通業などが中心顧客。500社（16年6月末時点）、4万8,239店舗に導入されている。16年6月期の年間取扱高（カード入金額）は720億円以上。また、ブランドプリペイドカード事業として、VISAやMasterCardなどの国際ブランドと提携して、従来のプリペイドカードの機能に決済機能を搭載したカードも手掛ける。16年6月期第3四半期累計（15年7月～16年3月）の売上高構成比はハウスプリペイドカード事業が90.7%、ブランドプリペイドカード事業が9.3%となっている。

#### ■ 特徴

企業が専用端末を設置するのみで導入でき、インターネットによるリアルタイム残高管理が行える。カード自体に価値を保有せず、従来の電子マネー同様、リチャージ機能によって繰り返し利用することができる。消費系企業の顧客囲い込み施策として需要が高まっている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

17年6月期連結経常利益は前期比45.2%増の2億3,678万円を予想する。引き続き飲食や小売業を中心とした受注、サービス導入が進む。スーパーマーケットの大口案件も稼働を始めている。爆発力はないものの、着実な導入数増加で増益基調を続けている。

#### ■ 定性分析

市場が拡大する電子マネー分野で活躍する企業。大日本印刷やサイバーエージェントを主要顧客に持っており、株主には一休、JCBなどの名前もある。9月末はIPO案件が集中するが、26日は同社の上場であり、投資家の関心が分散しない点もポジティブ。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は7億円程度。新興市場上場案件としても軽量感がある。ベンチャーキャピタル保有株はあるものの、公開価格の1.5倍水準までのロックアップ条項が付されており、すぐに市場に流出しない仕組みとなっている。（小泉健太）

#### ■ 類似企業

バリュージェイン(3960・マザーズ)	予想PER12.3倍 (仮条件上限)
ウェルネット(2428・東証1部)	予想PER27.3倍
GMOペイメントゲートウェイ(3769・東証1部)	予想PER73.8倍

#### ■ 引受証券

SMBC 日興証券、みずほ証券、SBI証券、エイチ・エス証券、東洋証券、岡三証券、いちよし証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年6月期(実績)	1,243	20.5	-187	赤転	-550	赤転	-515.1	0.0
16年6月期(実績見込み)	1,631	31.2	163	黒転	150	黒転	131.7	0.0
17年6月期(会社予想)	2,254	38.2	236	45.2	223	48.7	166.5	0.0

※ 16年4月に株式分割(1株→100株)を実施。15年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年6月期	10,526	1,385	581	348	552.2	41.9	4.7
15年6月期	11,406	862	134	401	118.0	15.6	▲153.7

※ 14年6月期および15年6月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	尾上 徹	223,800	16.94
2	大日本印刷	137,200	10.38
3	NIFSMBC-V2006S3投資事業有限責任組合	98,300	7.44
4	林 秀治	81,800	6.19
5	CSK-VCサステナビリティ・ファンド投資事業組合	76,900	5.82
6	ネオス	70,000	5.30
7	ティーガイア	66,700	5.05
8	GMOペイメントゲートウェイ	66,600	5.04
9	サイバーエージェント	60,000	4.54
10	金子 毅	50,400	3.81

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	尾上 徹
常務取締役	林 秀治
取締役 管理部長	本多 誠一
取締役 営業本部長	一柳 寿一
常勤監査役	金子 毅
監査役	田部井 修
監査役	久札 美紀子

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（[http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690\\_kaiji.html](http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html)）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会